



空がだんだん高く感じるようになってきました。これから小春日和の日もあるでしょうが、きつと一気に寒くなっていくのでしょうか。春や秋などの過ごしやすい季節が、最近はあるという間に過ぎていくように感じます。冬支度を迎える前のひと時、実りの秋を楽しみましょう。

さて、今回北海道で起きた地震は道内停電(ブラックアウト)を引き起こし、液状化現象も注目されました。そして、『今後、日本のどこにおいてもこのような地震が起こりうる。』と、報道では繰り返されています。テレビの中で、幼いお子さんを抱きながらあるお父さんが、「まさかここで起きるとは思いもせず、何も備えていなかった。」と悔しそうにインタビューに答えていました。一方、ある子育て支援センターでお話したお母さんは、「足りないかもしれないが、子どものオムツや水分など最低限の物だけはリュックに入れてある。」と教えてくださいました。

ハザードマップのことは通信9月号でもふれましたが、災害を記憶にとどめるのではなく教訓とし、しっかり『備える』時がきているのかもしれない。



ハローワーク マザーズコーナー

で、お話聞いてきました。

保育園等の入園申請を控え求職中の保護者の方もいらっしゃるかもしれませんね。中央子育て支援センター等でしている就労相談について先月号でお伝えしましたが、今回ハローワークへ行きマザーズコーナー担当の方にお話を伺ってきました。

マザーズコーナーはハローワーク正面入って右側に個室があります。2席あり、パーテーションなどで仕切られてはいませんが、絵本やおもちゃが置いてあり、お子さん連れでも利用しやすくなっています。担当者は女性で、気兼ねなく来ていただきたいとおっしゃっていました。

求職申込書記入、登録、登録カードの発行(このカードが求職中という証明になる)という流れになりますが、求職申込書はいったん持ち帰って記入後、出していただいても構わないそうです。求人情報は自宅のパソコンでも見られますが、来所していただくより一日遅れの情報になるそうです。また、午前中は、混雑する日が多いそうです。



認定こども園とは？

現在、上田市には認定こども園が2園ありますが、2019年度、私立保育園から認定こども園に移行する予定の園が5園あります。

認定こども園は幼稚園、保育園とどこが違うのでしょうか。

『認定こども園』は、幼稚園と保育園の機能や特徴を合わせ持つ施設です。現在は幼保連携型(キッズ・うえだみなみ)と保育所型(三好町)があり、3歳から5歳までのお子さんが、保護者の就労状況に関わらず利用できます。(0歳～2歳のお子さんの利用は、保護者が就労等の理由で保育を希望する場合となります)

詳細は、保育課(23-5132)、各園にお聞きください。

母として、女性として、アーティストとして時代を駆け抜けた安室奈美恵さん

安室さんに影響を受けた世代ではありませんが、引退に際しての報道を見ていて彼女が産んだ翌年の1999年、当時の厚生省の出したポスター『育児をしない男を 父とは呼ばない』を思い出しました。(彼女の前夫が、赤ちゃんを抱っこしていました。)あれから20年。お子さんも成人するのだな。周りの支えはあったにせよ、注目を浴びながらどれだけの物を背負って走ってきたのだろうと、お節介にも思いを馳せました。彼女の最後のアルバムのタイトルは「Finally」。「Final」ではないので意味には「とうとう、ようやく、やっと」などの意味が含まれるようで、『終わりは新しいことの始まり』の思いもあるのだとか。

世代は違いますが、同じ女性として、母として、背筋が伸びました。

